

47 ミユビシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Calidris alba

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

シベリア中北部、アラスカ北部、カナダ、グリーンランドなどの北極ツンドラで繁殖し、繁殖後はアフリカ、西ヨーロッパからアジア南部、オーストラリア、南アメリカなどの沿岸に渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本各地に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。大きな群れで行動することが多い。干潟でも見られるが、砂浜の海岸で波打ち際を走り回って貝類や甲殻類を採食することが多い。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、本州、佐渡、舩倉島、竹島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：鳥田陽子

(性別：不明)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、明石市、★西宮市、★芦屋市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★高砂市、加西市、★淡路市、たつの市、香美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
	○	○				○			○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に4-5月と8-11月に記録がある。大群で行動することが多いとされるが、県内では大きな群れの記録はほとんどない。大抵は1羽か数羽の小群で記録されている。県北部でも記録はあるが少ない。最近は渡来地が極めて限られるようになった。

保護上の留意点

現在もわずかに残されている干潟や河口などの自然環境の保全に加えて、積極的な再生のための環境整備が重要。